

あなたの声を議会に...

No.146

(年4回発行予定)

令和8年2月16日発行



市議会だより



議会と語る会 (R8. 1. 17 牛根地区公民館)

目次

【令和7年第4回定例会】	2
常任委員会審査結果	3
一般質問	5
【令和8年第1回臨時会】	11
令和8年第1回定例会日程案	
編集後記	16

発行／垂水市議会
 編集／垂水市議会だより編集委員会
 鹿児島県垂水市上町114番地
 Tel 0994-32-1111 (内線358)
 メールアドレス
 t_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



垂水市議会
ホームページの入り口

令和7年
第4回定例会

一般会計補正予算 (第5号) (第6号) (案) 可決 一般会計予算総額 163億2,563万円

第4回定例会は、11月26日から12月19日まで24日間の会期で開かれ、19件の議案や意見書案が審議されました。

定例会では、固定資産税の賦課誤りに伴う還付金、多目的広場兼グラウンドゴルフ場整備事業等に要する経費に係る一般会計補正予算(第5号) 13億3,417万円の増額が全会一致で可決されました。

また、追加上程されました一般会計補正予算(第6号)では、国の補正予算成立に伴う物価高対応子育て応援手当の執行に係る2,985万8千円の増額が全会一致で可決されました。

意見書案第9号「安全安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善と医療機関や介護施設の経営改善を求める意見書案」、意見書案第10号「ふるさと納税制度の寄附額控除の在り方に関する意見書案」はともに全会一致で可決され、国の関係省庁へ意見書を送付しました。

※審議結果は12ページに掲載

一般質問では10名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

～令和7年度一般会計補正予算(第5号)の主な事業～

固定資産税の賦課誤りに伴う還付金

3,635万9千円

垂水市漁協、牛根漁協における固定資産税の過年度分の更正に伴う還付金等(加算金を含める)の不足分を増額補正するもの

多目的広場兼

グラウンドゴルフ場整備事業

1億5,000万円

垂水港緑地に県の使用許可を得て、多目的広場兼グラウンドゴルフ場として整備するための費用

一般会計補正予算(第5号) 13億3,417万円

豚熱ワクチン接種支援事業補助金

310万1千円

豚熱のまん延防止のため、養豚農家が負担する経費の一部に対して助成するもの

青色回転灯装備車購入

244万4千円

初回登録から16年が経過し、エアコンの不具合や老朽化による雨漏りが発生するようになったことにより新たに購入しようとするもの

産業厚生委員会

12月11日に産業厚生委員会が開催され、11月26日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

垂水市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案

付託内容

令和6年6月に公布された子ども子育て支援法等の一部を改正する法律により、新たな給付制度として創設された。

乳児等通園支援制度、通称「こども誰でも通園制度」が令和8年4月から全国の自治体で実施することが定められたことに伴い、自治体はその基準となる条例を定めなければならぬことから、今回新たに制定しようとするもの。

主な質疑

問 来年度4月より、生後6ヶ月から3歳児未満の子供はどのくらいいるのか。

答 生後6ヶ月から3歳児未満の方が85人おり、そのうち24人が未就園児のため、その24人が対象となる。

垂水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案

付託内容

児童福祉法等の一部を改正する法律及び令和6年の地方からの提案等に関する対応方針を踏まえた内閣府令に伴い、関連する条例の一部を改正しようとするもの。

主な質疑

問 県が実施する地域限定保育士の試験と国家試験との違いは。

答 どちらの試験も全く同じ受験資格であり、試験も同程度で処遇も同じであると示されている。



垂水市道の駅交流施設の指定管理者の指定について

付託内容

対象施設は令和8年3月31日をもって現在の指定管理期間が終了することから、新たな指定管理者の指定について地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。

主な質疑

問 事業者のプレゼンテーションがきちんとして履行されるか、事業実績のチェックはどうするのか。

答 プレゼンテーションの内容がどのように計画され実行されるか、お互いに話をしながらチェックしていきたい。

令和7年度垂水市一般会計補正予算（第5号）案

付託内容

たるたるのお出かけチケット交付事業、子育て支援センターに係る光熱水費、豚熱ワクチン接種支援事業補助金、水産業販路拡大支援事業補助金、多目的広場兼グラウンドゴルフ場整備に係る増額補正を行うもの。

主な質疑

問 多目的広場兼グラウンドゴルフ場整備の財源については、交付金や補助金を検討しなかったのか。

答 県との協議の中で、県有地であり港湾施設として、すでに国の補助が投入されているので活用できなかった。

問 グラウンドゴルフで利用する方への暑さ対策として、東屋設置の方向性は。

答 3連式の東屋を1棟、2連式の東屋を2棟設ける。

問 整備に係る撤去費用や処分費用は。

答 撤去費用や処分費用はなるべくコスト削減を図って予算内に抑えたいと考えている。



総務文教委員会

12月12日に総務文教委員会が開催され、11月26日の本会議において付託された案件について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

垂水市火災予防条例の一部を改正する条例案

付託内容

令和7年2月26日に発生した大船渡市の林野火災を受け、林野火災の予防上危険な気象状況になった際に注意を喚起する「林野火災警報」を的確に発令した際の防火指導の強化や火の使用制限、対象区域の指定、焚火の届出の対象となる期間、区域の指定の規定を加えるもの。

主な質疑

問 市長が予防注意報を発令するタイミングのガイドラインは。

答 注意報を発する3日前の降水量が1mm以下かつ30日間の降水量の合計が30mm以下もしくは注意報を発する3日前の降水量が1mm以下かつ乾燥注意報が発令されているときに、注意報を発令する。

令和7年度垂水市一般会計補正予算(第5号)案

付託内容

委員会所管の事項で、議会の普通旅費、費用弁償及び議長交際費不足分、職員の時間外手当の不足見込額、備品購入費、青パト購入費、市長・副市長・一般職員の公務出張に関する経費の不足分、過誤納還付金、消防署の電気代不足分、垂水小学校通信運搬費、垂水中央中学校教職員校内支援システムリース料などの増額補正。

主な質疑

問 議長交際費はどのくらい使用したか、また内容公開して欲しいが。

答 当初予算で20万9000円計上したが、慶弔費について想定を上回る執行があり増額補正をした。交際費公開については協議検討する。

問 市長の出張旅費について、予算を作る上で財政課から指摘はないのか。

答 当初予算の編成方針の中で示される旅費の算定基準に基づいて積算し、執行する段階においては行程表を作成後、財政課の確認をいただき、適切に処理している。

問 青パト(青色回転灯装備車)購入費について詳しく確認したい。

答 現在の車両を購入から16年経過して老朽化し雨漏りがする。40馬力ぐらいの2輪駆動車である軽自動車の新車を考えている。

問 誤賦課による固定資産税の還付金が発生したが、課題と今後の再発防止策は。

答 内外の情報共有が機能していなかった。今回非課税の物件を課税しており、償却資産において種類の見解に誤りがあった物件もあった。实地調査を早期に実施するよう調整し、特例措置の情報を確実に引き継ぐ体制を整えて再発防止に努めた。

問 垂水中央中学校校内支援システムリース料の増額補正を今回の議会

で要求した理由は。

答 現在のシステムは県の共同調達により令和2年から5年間契約していた。その後1年間の無償更新期間が終了するため、令和8年1月から3月までを計上し要求することになった。

令和7年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)案

付託内容

子ども・子育て支援金制度の円滑な施行に向けた周知広報の経費及びそれに伴う事業費補助金の増額。

主な質疑

問 国保税にプラスいくらかになるのか。

答 全加入者平均月額見込みで令和8年度250円程度である。



令和7年 第4回定例会

一般質問

10議員が登場！

市政を問う



第4回定例会において、10名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しています。

詳細な内容については、各議員のQRコードから動画を視聴することができますのでご覧ください。

10番	9番	8番	7番	6番	令和7年12月10日	5番	4番	3番	2番	1番	【質問者】 ※質問順
池田 みすず	宮迫 隆憲	池山 節夫	梅木 勇	持留 良一		堀内 貴志	新原 勇	高橋 理枝子	前田 隆	感王寺 耕造	令和7年12月9日
議員	議員	議員	議員	議員		議員	議員	議員	議員	議員	
P10	P9	P9	P8	P8		P7	P7	P6	P6	P5	

救急医療体制



感王寺 耕造 議員



問 救急搬送については、軽症者（入院を必要としないもの）が令和6年で268名いたとのことである。救急車両の適正な使用についての周知はどう考えているのか伺う。

答 搬送が必要な場合とそうでない場合の違いや緊急性を要する症状についての理解を深めていただく必要があったことから、これまでも各施設や事業所へポスター等の配布、また、各地域でのAED指導、講習時においても救急車の適正利用について周知を図ってきたが、今後は広報誌などを活用し、適正な利用の周知をさらに強化していきたいと考える。

【市長答弁】 トリアージを行い、必要を判断した上で、効率的な適正利用に努めるなど市長会でも検討されているところである。

問 鹿児島市の桜島フェリーの24時間運航の見直しがあったが、鹿児島市への搬送に影響はないのか伺う。

答 鹿児島市のご厚意をもって、緊急事態の対応として、緊急車両、救急車、民間を含む消防車、警察車両などのみに限定し、24時間対応できるように午前0時から3時までの時間

帯は桜島港に船舶1隻及び船員と作業員を待機させ、緊急搬送を可能とする体制が整備されている。緊急搬送については、桜島フェリー深夜帯運航停止時緊急搬送要請手順に基づき対応をしていくよう努める。



秋の産業祭

問 お楽しみ抽選券1枚（200円）の商品還元率は当初予算で20.4円となっている。市内はもとより市外からのお客様も多く、本年は1万2千人の来場者があったとのことである。高額商品を用意し、より一層の集客を図ることが高齢者の生きがいづくり、産業振興、交流人口増加につながるかと考える。補助金を増額し還元率を上げる必要があるかと考えるが、今後の方向性を伺う。

答 来年度に向けて、市民ならびに事業者にも喜ばれる抽せん会を実施するため、1枚当たりの還元率を上げることができるよう関係課と検討してまいりたいと考えているところである。

【その他の質問】

○こもんそ商品券について
○鳥獣被害対策について



前田 隆 議員



暫定税率廃止

問 ガソリン税、軽油引取税の暫定税率廃止に伴う本市への影響と来年度減収額はどれくらいになるか。

答 揮発油税は国税、軽油引取税は都道府県税であることから直接影響はないが、国の税収が減ることによる地方交付税への影響や県の税収が減ることにより補助事業など間接的には影響が出てくると考えられる。市町村に直接影響が出るのは地方揮発油譲与税で、廃止後は現行より15・38%減少することから本市の令和6年度決算額1812万円で試算すると約278万円余りの減収が見込まれる。

国保の医療費適正化

問 国保財政支出の大半を占める医療費の本市一人あたりの医療費は県内市町村でワースト4位と高いが、その要因は。

答 高い要因としては年齢構成面で被保険者全体のうち、65歳から74歳までの被保険者が60%であること、入院されている方が多いこと、疾病

から見ると高度な医療を必要とする方が多いことが考えられる。

問 医療費適正化の取組として特定健診の受診、ジェネリック医薬品の利用をよびかけているが、特定健診の受診状況と課題、受診率向上への取組を伺う。また、ジェネリック医薬品の利用状況と促進取組も伺う。

答 受診状況は令和6年度で受診率46・4%と県平均よりは高いが、本市目標の54%には達していない。課題は40歳代から50歳代の受診率が20%台とのびないことである。受診率向上への取組として、国保たるみずでの周知と受診された方へのインセンティブとして健康ポイント付与、今年度から健康チェックと同時に実施で特定健診の受診ができるようにしたことである。さらに、仕事の都合等で普段受診できない方々に受診の機会を増やす目的で2月に休日集団健診を新たに追加して行うことにしている。ジェネリック医薬品の普及率については、変更することで負担軽減が図られる方々を対象に個人への案内を行っており、その結果令和6年度は数量ベースで89・6%、金額ベースで68・1%と国の目標を超えている。

【その他の質問】

○市債抑制にふるさと応援基金の活用拡大と期間発行計画の作成を



高橋 理枝子 議員



GIGAスクール構想の今後

問 タブレット教育をいち早く導入したスウェーデンは児童の読解力低下を理由に本や手書きの練習に重点を置く政策に方向転換している。本市も注意深くデジタル教育に向き合う必要があると思うが見解を伺う。

答 「デジタルの力でリアルな学びを支える」を言葉にこれまで各学校が大切にしてきた、ふるさと垂水での体験活動を生かしながら、紙かデジタルかということではなく、そこが有機的につながるように工夫しながら、垂水らしいGIGAスクール構想の取組を力強く進めていきたいと考えている。

垂水市立学校の在り方

問 垂水市全体の未就学児、児童生徒数の推移は104人の中学2年生をピークに小学1年生35人、1歳児35人、今年10月までの出生数が25人、年々急激に子どもの数が減少している。9月には保育施設、小学校の子ども保護者アンケートが行われたが結果はどのようなものであったか。

答 児童向けでは1学年の一クラス

あたりの人数については「20人以上35人以内」が最も多かった。保護者向けの同じ質問では「10人以上20人未満」が最も多く、次いで「20人以上35人以内」であった。また、学校統合については「一校に統合する方がよい」が最も多く再編を望んでいる保護者が全体の73・7%であった。再編となった場合の要望として、スクールバス運行への配慮、小学校間の児童交流の活性化によるスムーズな移行、地域行事の継承などの声が寄せられた。

市長の出張

問 市長が所属する外部団体は102団体であり会議のリモート参加はない。宿泊をともし出張の回数が令和3年12回、令和4年23回、令和5年26回、令和6年29回、令和7年33回と増え、出張旅費も増えている。市長の県外出張についての意見を伺う。

答 102団体に所属しており1、2期目ではなかった会長職、副会長職など全国大会に出席するべき機会が増えている。また、横のつながりを強化して実情を訴えて、信頼関係を築いて決定権を持つ方々と意見交換を行うことで予算確保に努めるケースも数多くある。

【その他の質問】

○不登校児童生徒校内支援センター
○高齢者の体力づくりコミュニティ



新原 勇 議員



カンパチ・ブリ人工種苗
購入助成拡充を

問 カンパチ人工種苗の歩留まり率は一年目で70%、二年目で50%ほどである。基幹産業発展のためにも助成の拡充は図れないか見解を問う。

答 平成28年3月31日に制定した垂水市稚魚人工種苗購入補助金交付要綱の第4条で補助金の額は補助対象経費の10分の1。一事業者50万円を上限。令和4年から6年実績。カンパチ延べ12業者19万2000尾購入、3年間で300万円支給。ぶり3業者で7万1000尾、98万2000円支給。上限額50万円となる事業者は1社。今後はトレーサビリティの関係から人工種苗購入増加が多くなる可能性があるので、補助率や上限額に関し両漁協に伺うとともに、財政健全性と公平性を踏まえて関係機関と協議し、よりよい補助金制度となるよう検討する。

千本イチョウ駐車場等の有料化
キッチンカーの配置はできないのか

問 県道71号線の混雑緩和のために無料駐車場と無料バスが提供されて

いるが、そろそろ有料にして千本イチョウの草払いなどボランティア活動をされている水之上地区振興会の活動費としてはどうか。また、夜のキッチンカーを置くことにより寂しい駐車場も華やかになると考えるが設置の見解は。

答 園主に置かれては多くの方に来場いただき、市内全域への周遊と経済効果を及ぼしたいとの思いから、園内すべてを無料で一般開放されており、本市としてその理念を共有し、駐車料金は徴収せず、バスも無料で運行することで集客を図り、来場者へのおもてなしを実施。駐車場の有料化は、民法で定める借地権の規定により、土地所有者の承諾が必要であり、変更契約が必要になる。バスにおいては道路交通法における乗り合いバス事業となり、運行者が許可を取得することで有料バスの運行が可能になる。出店においては市民や来場者からのご意見もあることも承知している。園主や垂水市、観光協会等と協議し出店に向けて可能性を調査してまいりたい。

【その他の質問】

- ジオパークについて
- 出張の考え方について
- ふるさと納税について
- 物価高対策について
- 中央地区の冠水対策について
- 水産について



堀内 貴志 議員



1億5千万円の事業費
補正予算に馴染むのか

問 多目的広場兼グラウンドゴルフ場整備事業費1億5千万円について、高額事業費であるが故に補正予算に適合するの疑問に思う。急ぎ補正予算に計上する必要があるのか、その理由と妥当性について問う。また、10月に工事完成オープンングセレモニーを開催することであるが、技術的根拠が、それとも政治的都合に合わせた日程なのか。さらに市民には、丁寧な説明はなされたのか。

答 整備概算事業費が算出されたのが10月末であったことなどの背景や要因により、補正予算の性質にも適合すると思っている。芝生の定着に一定の期間を要すること、利用率が低い冬場に整備することで利用者への影響が最も低い冬場に整備を行うという技術的な要因による。市民への説明は、広報誌を通じて周知を行い、具体的な整備事業内容は、地域の皆様の代表であるグラウンドゴルフ協会の皆様と対話を重ねてきた。

市長の出張等について
その旅費の推移を問う

問 交際費や旅費の取扱いについて議員必携に「当初予算において年間予算として編成し計画的・効率的に施行し、補正予算における交際費や旅費の計上は厳に慎むべきであり指摘すべきである」等と記載がある。今回の市長部局の補正として約41万円の予算計上がなされており、市民から「市長は出張が多いのでは」との声をよく耳にする。旅費の執行について過去3年間における12月補正の実績と年度別決算額を問う。また、市長の出張に家族が同行する場合の旅費等の取扱いについて市のルール、ガイドラインが存在するか。

答 旅費補正について、令和5年度は62万円、令和6年度は約75万円。旅費の決算額は、令和4年度は約179万円、令和5年度は約280万円、令和6年度は約304万円。家族の同行について、市としてのガイドラインは設けていないが、主催者側から市長の家族の同行を案内される案件もあり、この場合は、市長に家族の出欠の確認をして対応している。なお、必要経費は家族に負担いただいている。

【その他の質問】

- 一つの所属において複数の職員が療養休暇を取得する現状について執行部の認識を問う



持留 良一 議員



物価高騰対策は市民に広く行き渡る対策を

問 市民生活を守るために対策が求められているが、物価高騰対策等はどうのように検討されたのか。

答 市民生活への取組としては、食品等の物価高騰の影響を受けている市民生活の家計負担の軽減や地域の経済活性化、地元消費の拡大に資するため国の令和6年度繰越予算や令和7年度予算予備費使用の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、商品券事業を行っている。また、国の総合経済対策が閣議決定され、ひとり親世帯や低所得者への支援、医療・介護福祉施設等への支援、農林水産商工業への支援など、市の財源だけでは難しい支援策等が含まれている。内容を精査した上でスピード感もって必要な対応をとるよう指示を受けている。

子どもには安心して休む権利があるがその保障と対策を

問 子どもには安心して休む権利が

あり、行き渋りや不登校で悩んでいる子どもや親（保護者）への温かい支援策が必要である。保護者が家庭で対応することも必要になってきていて、親への支援が教育委員会としても必要であると考えます。

① 不登校児のケアも介護休業の対象になるのか。

② 「ネット出席」制度の理解と制度は十分に浸透しているのか。

答 育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律で、育児や介護を行う労働者を支援し、仕事と育児、介護を両立することを目的としている法律である。不登校児のケアについては、子どもの心身の状況によっては介護休業の対象となるケースもあり得る。保護者が勤務先に相談し、制度の利用可否や必要な手続については確認していただく必要がある。

次に、不登校児・生徒等が自宅においてICT等を活用した学習活動を行った場合の出席扱いについては、校長の判断により出席扱いすることができる基準が文科省から示されている。さらに生徒や保護者に浸透する工夫をしていきたい。

【その他の質問】

- 旧垂水南中跡地の利活用問題
- 国保 子ども均等割の減免を
- 乳児等通園支援事業



梅木 勇 議員



河崎川の雑草除去整備を

問 河崎川については、今年度、中

市木地域で河床整備が行われているが、2〜3年前に河床整備された下市木の河床では、雑草が生い茂り、特に暖竹が瞬く間に草丈が3〜4メートルほどの大きな株となり、水の流れや景観の影響を懸念し整備を望む声が聞かれている。下市木振興会では毎年7月に鉄道跡市道から上流へおよそ2キロの堤防のり面の草払い作業を行っているが、雑草の繁茂が早く景観等が維持できず、空き缶等のポイ捨てにもつながっている。土木課でも現状を見ていただき、県へ要望していただきたい。

答 県に伺ったところ、予算配分にもよると思うが、寄り洲除去を実施する際に暖竹除去等河床整備と併せて、堤防の除草も検討したいと回答いただいている。県・市の管理河川の寄り洲除去、護岸の修復、河川断面を阻害している堤防の除草は市においても現場をしっかりと確認して必要に応じて、県の河川は県へ適宜要望してまいりたい。

空き家対策に地域おこし協力隊を活用する見解を

問 高齢者や一人暮らしの方々が亡くなられて、空き家となっている住宅が随所にみられる。市では空き家解体撤去事業等5種の支援事業を行っているが、実績では成果の見える事業もあるが、空き家件数の割には活用件数が少ない事業もあるようだ。新たな対策として今年度当初予算に地域おこし協力隊採用支援業務費を計上されているが、どのような観点からどのような業務を考えられているのか伺う。

答 現在、市民の皆様方から所有する空き家の有効活用に関すること、近隣の老朽化した空き家に関すること、近隣の敷地に繁茂する草木に関することなど、様々なケースの相談を頂いている。相談内容に応じて関係課で対応しているが、法的知識など専門的な知識を求められるケースもあることから、専門的に対応していくために、そのような対応のできる地域おこし協力隊を採用し、空き家対応に特化した総合窓口として空き家の利活用等に関する相談への対応、各種補助金の申請受付等を予定しており、令和8年度から2名を採用したい。

【その他の質問】

- 道の駅の運営と新たな指定管理者候補者は



池山 節夫 議員



人口減少が進む中で安易に
議員報酬アップには反対

問 本年3月議会より垂水市議会では、議員一人一人にタブレット端末が配付された。これは議会からの事務作業の軽減、経費の削減、そして他の自治体とのインターネット会議に対応するため等の強い要望に応えていただいたものである。先日の冒頭、本会議で決算特別委員長より令和6年度決算認定の報告があり、議会各委員会の所管事項調査に対し、わざわざ現地に向かなくてもオンライン会議でいいのではという議論があったと報告があった。そこでまず、垂水市の行政、議会におけるインターネット会議に対応できる範囲あるいは能力について伺う。

答 現在の環境は議会中継やペーパーレス会議といった目的に特化して整備しているが、インターネット会議の活用は市議会運営の効率化や利便性の向上に資するものであると考えられるため、目的に沿ったシステムの導入や操作スキルを習得するための研修を実施するなど、イン

ターネット会議の実現に向けた柔軟な対応も可能である。

台湾との経済交流

問 9月議会において、台湾との国際交流事業の予算141万円に対し修正案が提出された。私は、この予算は垂水市の農畜水産物を台湾へ輸出していく足がかりになると考え、この修正案には反対討論をした。もし修正案が可決されていけば、垂水市と台湾との国際交流、経済交流は永久に閉ざされたらどうかと考える。台湾との経済交流について伺う。

答 具体的には人と人との交流に加え、観光・水産・商工の観点から観光業や飲食業等の商工関係者等に向けた本市の観光地や特産品の商談会やプロモーションイベント等に通じた販路拡大など、本市企業の稼ぐ力の向上に寄与する取組を行っていきたいと考えている。

予算と財源

問 今、垂水市議会では議員定数を2名減とするかわりに、議員報酬を上げるようにという方向で議論が進んでいる。これからの市政運営と財源確保について見解を伺う。

答 市長である私ができることとして、地域特有の事情や課題といったことを国に直接訴える陳情活動を通じて、地方の声を国に届けるということである。



宮迫 隆憲 議員



豚熱発生の影響は

問 鹿児島県で初めて豚熱が確認されたが、今後の対応と養豚農家への支援を伺う。

答 令和7年11月19日に霧島市で県内初の野生イノシシの豚熱感染事例が確認され、その後も同市内で複数例確認されており、本市を含む県内全域において豚熱ウイルスの拡散リスクが一段と高まっていると認識している。現時点で、本市においては野生イノシシや飼養豚の豚熱感染事例は確認されていない。また、野生イノシシ陽性確認地域が拡大し、北海道を除く46都府県がワクチン接種推奨地域となっており、県内全ての養豚場においては、既に豚熱ワクチンが接種されており、国の豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、豚の移動制限や搬出制限は行わない方針となっている。今後の対応としては、畜産農家には、侵入、まん延防止に向けた防疫対策が求められており、労力に加え、消毒資材のかかり増し経費など、依然として

厳しい経営状況に置かれていることから、今議会に養豚農家の経営を支援するため、豚熱ワクチンに要する経費のうち養豚農家が負担する経費の一部を助成する豚熱ワクチン接種支援事業補助金の補正予算を上げしたところである。本市の重要な基幹産業である畜産業を守るため、市況や消費動向に注視しつつ、関係機関と連携し、必要な財政措置等について国・県へ要望し、畜産農家の経営安定と防疫体制の強化に万全を期したいと考えている。これまでの農家支援に関わる様々な現状を分析し、新年度に向けた支援策について、関係機関と検討を行っているところである。引き続き農家の防疫対策、市の体制等について再度確認を行い、初動が遅れないように万全を期してまいりたいと考えている。



【その他の質問】

- 介護事業所におけるタイミーの活用
- 中学生の部活動への支援
- 消防職員の負担軽減への対策



池田みずす 議員



中央地区グラウンドゴルフ場と既存のグラウンドゴルフ場との整合性は

問 中央地区のグラウンドゴルフ場整備（総経費1億5千万円）の必要性に反対するものではないが、牛根地区や新城地区など、他地区に存在するグラウンドゴルフ場の施設整備と比較した場合、平等性が損なわれているのではないかと。

答 中央地区のグラウンドゴルフ場については市長選挙における市長公約に基づき整備するもの。他地区のグラウンドゴルフ場については、おおむね地域振興計画に基づくものであり、地域住民が主体となっており、たい姿を具現化するものとして整備されたものである。

問 先日牛根地区で開催されたグラウンドゴルフに参加し、トイレの使用に問題を感じた。市民の健康と利便性確保のため、牛根地区グラウンドゴルフ場の敷地内に市として責任をもってトイレを設置することを要望する。他地区に存在するグラウンドゴルフ場についても、地域間・施設間の公平性を鑑み、同等の水準で

整備を進めていくよう重ねて要望する。地域の切実な声を形にしていたくことはできないか伺う。

答 牛根地区に関しては、所有者であるグローバル・オーシャン・ワークス(株)と健土(株)の考えを尊重して進めていく必要がある。その上で、牛根地区の皆様とも対話を重ね、新たな要望があつた場合には包括連携協定に基づき、市も含めた4者で、改めてしっかりと連携して対応していきたいと考えている。他地区のグラウンドゴルフ場についても、必要に応じて各地区の皆様と対話を重ね、各地区のニーズ把握に努めていく取組も必要と考える。

【市長答弁】 より近くにトイレがあつた方が良いが、新設となると数百万円から1000万円を超える経費が必要になる。財源に限りがあるので、市民ニーズを捉えながら、今後協議していく。

問 中央地区グラウンドゴルフ場整備1億5000万円の財源について、補助金の活用があるのか。

答 補助金の活用はなく、全て一般財源である。

【その他の質問】

- 市民への説明及び周知について
- 組織能力の強化について
- 台湾交流事業について
- 課税の適正化・公平性について

～ 議会の主な活動 ～

【令和7年11月～令和8年1月】

- 11月4日 (火) 鹿児島県市議会議長会臨時総会 (東京都)
- 11月5日 (水) 小規模市議長会中央要望 (東京都)
- 11月9日 (日) 関西垂水会総会 (大阪府)
- 11月11日 (火) ～11月13日 (木)
総務文教委員会所管事項調査 (大阪府・兵庫県)
- 11月19日 (水) 千本イチョウ祭り安全祈願祭 (垂水市)
- 12月6日 (土) 国道220古江バイパス開通式 (鹿屋市)



12/6 国道220古江バイパス開通式



1/6 消防出初式

- 12月25日 (木) 東京都北区議会行政視察受入 (垂水市)
- 1月5日 (月) 二十歳のつどい (垂水市)
- 1月6日 (火) 消防出初式 (垂水市)
- 1月8日 (木) 小規模市議長会定期総会 (宮崎県)
- 1月10日 (土) 新春賀詞交歓会 (垂水市)
- 1月12日 (月) ～1月18日 (日)
議会と語る会 (垂水市)
- 1月19日 (月) 鹿児島県市議会議長会臨時総会 (鹿児島市)
- 1月20日 (火) 鹿児島県市議会議員研修会 (鹿児島市)

令和8年
第1回臨時会

一般会計補正予算（第7号）（案）

物価高騰対策に係る商品券配布事業 プレミアム付商品券販売事業 可決

令和8年第1回臨時会は、1月22日から1月23日まで2日間の会期で開かれ、1件の議案が審議されました。

議案内容につきましては、国庫補助金等の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などを活用し、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援する事業実施のため、垂水市商工会へ補助を行う一般会計補正予算（第7号）2億8751万8千円を増額するものとなっております。具体的には、2つの事業を計画しており、1つ目は垂水市民1人あたり1万円の商品券配布事業です。3月1日から順次発送を行いつつ、使用期限を6月30日までと考えています。

2つ目はプレミアム率50%の商品券を販売する事業で1000円単位からの購入も可能となっております。購入額上限は7万円となっております。本案の採決を諮ったところ、全会一致で原案のとおり可決となりました。

※審議結果は12ページに掲載

産業厚生委員会（歳出）

主な質疑

問 1人1万円の商品券配布事業とプレミアム付商品券販売の具体的なスケジュールを伺う。

答 配布事業については、3月1日から順次発送を行い、使用期限を6月30日までとし、プレミアム付商品券販売については、4月から応募受付を開始し、6月1日から11月30日までの使用期間と計画している。

問 プレミアム付商品券の購入上限額を7万円に設定したことの根拠を伺う。

答 これまでの実績等を踏まえて、地域経済、個人消費を含めて総合的に判断して、7万円程度が適当だと考え設定した。

問 プレミアム付商品券を購入しやすい対策を検討しているのか伺う。

答 これまでの議会などでの意見も踏まえ、5000円未満に限り、1000円単位での購入も可能とした。

総務文教委員会（歳入）

主な質疑

問 国・県・市の財源配分の考え方について伺う。

答 まず、国から貴重な財源を頂いたことから交付金限度額以上の金額で事業費を検討した。その後、県の12月補正の中で補助金事業が計上されたことから活用し、他に有効な補助金がないか検討したうえで、最終的に財政調整基金の活用の結論に達した。

【審査結果】

産業厚生委員会・総務文教委員会ともに全会一致で可決されました。



令和7年第4回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
議案第60号	令和6年度垂水市一般会計歳入歳出決算認定について	令和6年度各会計の決算を審査するもの→閉会中の10月23～24日に決算特別委員会で審査された内容については次ページへ	認 定
議案第61号	令和6年度垂水市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認 定
議案第62号	令和6年度垂水市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認 定
議案第63号	令和6年度垂水市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について		認 定
議案第64号	令和6年度垂水市地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について		認 定
議案第65号	令和6年度垂水市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		認 定
議案第66号	令和6年度垂水市老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について		認 定
議案第67号	垂水市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 案	令和8年4月からこども誰でも通園制度が全国の自治体で実施されることに伴い、基準となる条例を制定するもの	原案可決
議案第68号	垂水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例 案	これまで国家戦略特別区域内に限り認められていた「地域限定保育士制度」を一般制度化する改正等	原案可決
議案第69号	垂水市火災予防条例の一部を改正する条例 案	林野火災注意報や林野火災警報を的確に発令した際に、林野火災の予防の実効性を向上させるための規定を追加するもの	原案可決
議案第70号	垂水市固定資産評価審査委員会委員の選任について	戸越 靖彦氏を固定資産評価審査委員会委員に任命するもの（再任）	同 意
議案第71号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めることについて	池田 恵津子氏の人権擁護委員推薦にあたり、議会の意見を求めるもの	適 任
議案第72号	垂水市道の駅交流施設の指定管理者の指定について	道の駅たるみずの指定管理者としてシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社を選定することに議会の議決を求めるもの	原案可決
議案第73号	令和7年度垂水市一般会計補正予算（第5号）案	固定資産税の賦課誤りに伴う還付金、多目的広場兼グラウンドゴルフ場整備事業等に要する経費等の増額	原案可決
議案第74号	令和7年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案	子ども・子育て支援金制度の周知広報の経費等の増額	原案可決
議案第75号	令和7年度垂水市水道事業会計補正予算（第2号）案	市木地区の国道河崎橋に添架している鋼管が、経年劣化で漏水が発生しているための取替工事等の増額	原案可決
議案第76号	令和7年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案	国の補正予算成立に伴う物価高対応子育て応援手当の執行に係る増額	原案可決
意見書案第9号	安全安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善と医療機関や介護施設の経営改善を求める意見書（案）	医療機関や介護施設への当面の支援策として、全額公費による物価高騰・賃上げ支援策等を要望するもの	原案可決
意見書案第10号	ふるさと納税制度の寄附額控除の在り方に関する意見書（案）	ふるさと納税制度における寄附額控除の上限設定の検討にあたり、地方自治体の実情や意見を十分に反映させることを要望するもの	原案可決

令和8年第1回臨時会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
議案第1号	令和7年度垂水市一般会計補正予算（第7号）案	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金にかかる事業案に対する増額	原案可決

決算特別委員会

10月23・24日に決算特別委員会が開会され、令和6年度の各会計歳入歳出決算について審査を行い、認定しました。

審査にあたり、決算の性質に鑑み、予算が議決の趣旨、目的に沿って適正に執行され、かつ所期の目的が達成されたかどうか等に重点を置いて審査しました。

一般会計決算全体概要

	令和6年度	令和5年度	差 額	増減率
歳入総額	148億 3,042万円	138億 4,901万円	9億 8,141万円	7.1%
歳出総額	144億 6,603万円	133億 7,160万円	10億 9,443万円	8.2%
形式収支	3億 6,439万円	4億 7,741万円	△1億 1,301万円	△23.7%
繰越財源	3,764万円	4,984万円	△1,219万円	△24.5%
実質収支	3億 2,674万円	4億 2,756万円	△1億 81万円	△23.6%

【一般会計決算状況】

決算額は、歳入が148億3042万円に対し、歳出が144億6603万円で、歳入から歳出を差し引いた形式収支は3億6439万円となっている。

また、この額から繰越事業の財源として、翌年度へ繰り越すべき財源3764万円を差し引いた実質収支は3億2674万円となっている。

【監査委員意見】 ※抜粋

実質収支は一般会計で3億2674万7925円、特別会計全体で8929万580円となっており、すべての会計で純損失のない黒字を計上し健全財政を維持している。

○懸案事項

「地方債残高」は前年度より3億2489万8768円減少し、82億9117万2049円となっております。

特別会計決算額

特別会計名	決 算 額		実質収支
	歳 入	歳 出	
国民健康保健特別会計	20億 9,558万3千円	20億 9,358万円	200万3千円
交通災害共済特別会計	987万9千円	277万円	710万9千円
地方卸売市場特別会計	567万1千円	485万8千円	81万3千円
老人保健施設特別会計	6億 7,148万8千円	6億 7,148万8千円	0円
介護保健特別会計	22億 6,705万8千円	21億 8,812万9千円	7,892万9千円
後期高齢者医療特別会計	2億 8,559万1千円	2億 8,515万4千円	43万7千円

【決算特別委員からの意見】

り、減少傾向である。今後も市債の発行に当たっては、将来債務が財政運営を圧迫することがないよう、中長期的な目標設定を行い、地方債残高の抑制に努めていただきたい。

○一般会計（農林課）

市独自の交付金の上乗せを今後も

検討していただきたい。

○一般会計（消防本部）

消防の広域化の道だけではなく、住民の財産と命を守るために様々な方法で今後の消防本部の在り方を検討してほしい。



「垂水市議会 議会と語る会」市内6会場で開催

■「語る会」報告

議員定数等調査特別委員会で
は、現在議論している議員定数
及び議員報酬、また、政務活動
費のあり方をテーマに、1月12
日から18日までの期間、市内6
会場で計7回、「議会と語る会」
を開催しました。寒い中にもか
かわらず、各会場には合計で55
名の市民の皆様にご参加いただ



きました。心よりお礼申し上げます。

会場では、議員からこれまでの
の議論や近隣市議会の状況等を
説明し、実施中の市民アンケー
ト回答から中間報告も行いなが
ら、市民の皆様から活発なご意
見やご質問が寄せられ、議会へ
の関心の高さを感じられる場と
なりました。

「定数削減で住民との関係が
遠くなるのではないか」、「議員
報酬にはこれまで関心がなかつ
たが、額を目の当たりにしてそ
の低さに驚いた」、「政務活動費
は具体的にどう使うのか、基準
作りとチェックする機能が必
要」など、多岐にわたる視点か
らのご意見やご質問をいただ
き、市民と議員が直接語り合う
ことの重要性を改めて感じる機
会となりました。

「語る会」開催実績

月日	地 区	参加者
1/12	柊原	7
1/13	協和	7
1/15	新城、水之上	13
1/17	牛根（3校区）	20
1/18	垂水（2回開催）	8
計		55

■市民アンケート

昨年12月から1月末まで実施
しておりましたアンケートで
は、「語る会」会場に参加でき
なかつた方々からも多くのご意
見をいただきました。アンケー
トへのご協力に感謝申し上げま
す。執筆時点では集計結果を公
開できる段階にありませんが、
結果については改めて市民の皆
様に報告する予定です。

これら市民の声を参考にしな
がら、特別委員会として議論を
継続し、3月までには一定の方
向性を示していきたいと考えて
おります。

■市議会の未来のために

今後も、垂水市議会の未来に
向けて市民の皆様とともに意見
を交わし、よりよい形を模索し
てまいります。引き続きご支援
ご協力のほどよろしくお願いい
たします。



池田市：大阪府北部に位置し、人口は約10万3千人。五月山動物園のウオンバットが世界最高齢でギネス記録に認定。
 小野市：兵庫県東播磨地域のほぼ中央に位置し、人口は約4万6千人。そろばんと家庭用刃物が伝統工芸品として有名。

総務文教委員会
 所管事項調査報告

1. 調査日 令和7年11月11日
 ～11月13日
2. 調査地及び調査内容

大阪府池田市

【目的】
 小中一貫教育について



池田市役所での研修状況

【調査の概要】

池田市では、平成28年度から「教育日本一」という目標を掲げて条例を制定した。子ども一人ひとりが何か一つでも秀でたところを伸ばし、世界に羽ばたく人材を育て

ることを目指し、教育に携わる多くの関係者が日々奮闘されている。現在、池田市には分離型小中一貫教育校が4学園、施設一体型義務教育学校1学園の計5学園があり、それぞれが特色ある学校園づくりを進めているところであり、その調査に伺った。

【まとめ】

義務教育学校として9年間の教育を一貫して行う「ほそごう学園」では前期課程の児童会と後期課程の生徒が集まって行う「ほそごうサミット」で活発な意見交換を行っていたり、上級生と下級生の給食交流等を行っていたりすることで、学年の垣根を越えて中一ギャップの解消にもつながっていると感じた。



兵庫県小野市

【目的】
 小中一貫教育について



小野市役所での研修状況

【調査の概要】

小野市では、平成17年に東北大学教授、川島隆太氏を小野市教育行政顧問に就任していただき、脳の司令塔である前頭前野を鍛えることを目的とした取組を行っており、その内容をお聞きするため調査に伺った。

【まとめ】

胎児から15歳までの16か年教育を推進しており、前頭前野の発達段階に応じた習慣や学習を導入している。特に早寝早起きやバラ

スの良い朝食をとることは、脳の働きに好影響をもたらすことが分かかっており、保護者の協力をいただきながら、子ども達の成長を見守っていた。加えて、タブレットやスマートフォンのようなデジタル機器一辺倒だけでは、前頭前野の効果的な成長にはつながらず、従来のアナログな方法も融合しながら、デジタルとアナログの適材適所を上手く見極めて、子ども達の教育に活用することが重要であると学んだ。本市でも小学校・中学校の入学者数は年々減少の一途を辿っており、今回の先進事例を活用できればと考える。

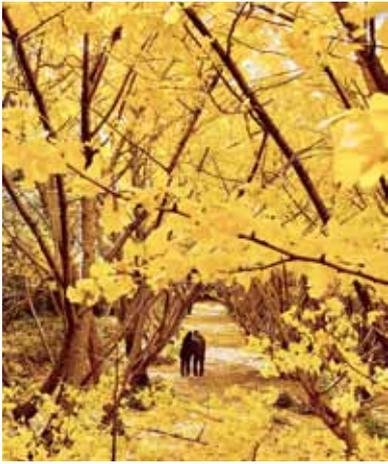


【特集 第8回】

垂水市魅力発見

垂水千本イチヨウ

本市には秋の黄葉名所「垂水千本イチヨウ」があります。1200本の鮮やかな色づきと園主の中馬御夫妻が昭和53年から、こつこつ植えられたストーリーは来訪者の心に感動を与えます。今シーズンは色づきも良く多くの来訪者で賑わいました。今回は、イチヨウ祭りの準備、応対に尽力された垂水市観光協会や水産商工観光課に感謝し、来訪者数や取組を同課に、園主の中馬吉昭さんには今後の展望を取材しましたので紹介いたします。



Q 来訪者はどのくらいでしたか。また、来訪者対応の取組は？

A 今年は約7万2千人のお客様がお越しくださいました（昨年は約5万人）。市は安全対策として警備やシャトルバスを運行しました。また、垂水市観光協会や市内店舗等と連携して、特産品が当たるスタンプラリーも実施し、来訪者が市内全体を周遊できるよう取り組みました。

Q 桜の植樹にも取り組んでおられますが、今後の磨き上げは？

A 「初冬のイチヨウの黄葉ばかりではなく、一年中来訪者を招致してほしいという要望が特に食堂やレストラン関係者から寄せられています。一年中は無理ですが、春ぐらにならと考えると、桜とイペーを植えることにして、密林を伐採して整備し、植林をしているところです。そしてその地面には菜の花が良いか迷っている今日この頃です。皆さんはどのような植物がお好みでしょうか？」取材への御協力、ありがとうございました。千本イチヨウに関するお問い合わせは水産商工観光課（TEL 0994-132-1486）まで。

〔前田 隆〕

市議会へ行こう

令和8年 第1回定例会会期日程（案）

月	火	水	木	金
2/9	10	11 建国記念の日	12 本会議	13
16	17 産業厚生委員会	18 総務文教委員会	19	20
23 天皇誕生日	24	25 一般質問	26 一般質問	27 産業厚生委員会
3/2	3 総務文教委員会	4 予算特別委員会	5 予算特別委員会	6 予算特別委員会（予備日）
9 予算特別委員会（総括質疑）	10	11	12	13
16 本会議	17	18	19	20 春分の日

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。

（本会議の様子はライブ・録画配信をしていますので、インターネット中継をご覧ください。）

※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。

※2月12日、3月16日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。

※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

新春の喜びを申し上げます。2026年は干支（かんし）では60年に一度の丙午（ひのえうま）「丙」は強烈な陽の火「午」もまた真昼の火を表し、2つの火が烈火のごときエネルギーを持つ年といえるでしょう。古来はあまりにも強すぎると恐れていましたが、現代においては強大なパワーこそが停滞した現状を打破する最大の武器になると考えます。

うまくいく年にしよう
まえを向いて走りだせ
どきどきワクワクを胸に
しあわせ駆け込む一年に！
今年も垂水市議会をよろしくお
願います。
〔新原 勇〕

